

今月の題字



熊野第三小学校 5年 平谷 結希 さん

二年 神鳥 花

熊野第三小学校 3年 神鳥 花 さん



熊野第三小学校 1年 森重 茜 さん

【評】 横画、縦画の長さや「おれ」に気を付けて書きました。力強くしっかりと書くことができている。

【評】 生活科でシャボン玉の授業をした後、「シャボン玉がこんな色だったらいいな」「こんなに大きかったらいいな」と自分なりに想像を膨らませ、クレヨンやクーピーを使い、丁寧に色を塗ることができました。

熊野の自然 (374)
コハウチワカエデ (ムクロジ科)



カエデもモミジも、同じカエデ属です。カエデは、葉の形がカエルの手に似る蛙手に由来します。モミジは葉が紅葉すること、紅葉した葉などの意味です。カエデ属の葉が全て蛙手、掌状ではありません。全く裂けない葉もあれば、3出複葉や羽状複葉もあります。カエデ属の共通の特徴は、葉が対生すること、プロペラ状の翼を持つ翼果です。小羽団扇楓は、葉が天狗の羽団扇に似た羽団扇楓より葉が小さいので名が付きました。別名、板屋名月。日本特産で、本州、四国、九州に分布する落葉高木で

カエデもモミジも、同じカエデ属です。葉身の直径は5〜8cm。葉柄は長さ3〜8cm、葉身と同じか2/3以上の長さです。若葉の頃は、葉身も葉柄も多毛です。毛は後にだいたい落ちますが、裏面の脈上や葉柄に残りまます。毛の有無は、種類を見分ける良いポイントです。花期は5〜6月。淡黄色の小さな花が、長い柄の先に集まって垂れ下がります。雄花と両性花が混じっています。翼果は水平に近い角度に開き、熟すと2つに分かれて風に運ばれます。分果は長さ1〜1.5cmほどです。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

す。県内で最も広く分布していて、特にブナ林に多く見られます。町内の山に自生する掌状のカエデは本種だけです。多くはありません。葉身は7裂か9裂が多く、縁は鋭

筆の駅ミニギャラリー

● ありがとう月間

筆の里めぐり月間

時 11月1日(日)〜11月30日(月)
筆の里工房で開催中の「第22回筆の里めぐり月間」のちよつと大きな絵がみ大賞優秀作品展【一般の部】に伴い、過去の優秀作品を展示します。素晴らしい作品の数々をぜひご覧ください。



第21回 特別賞 熊野町教育委員会教育長賞 一般の部 吉中敬子 (広島県)

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭 10・6・24

開 855・1123 (いいふみ)

開 10時〜16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休 水曜日・第3日曜日

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



防災無線放送再生ダイヤル
082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)

